

社

二

第 1 日

社 会

(10:40~11:30)

注 意

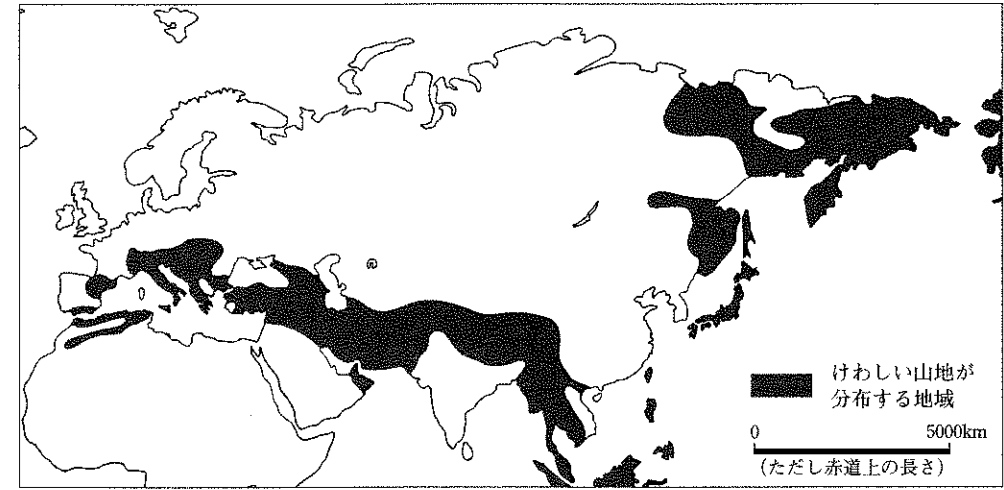
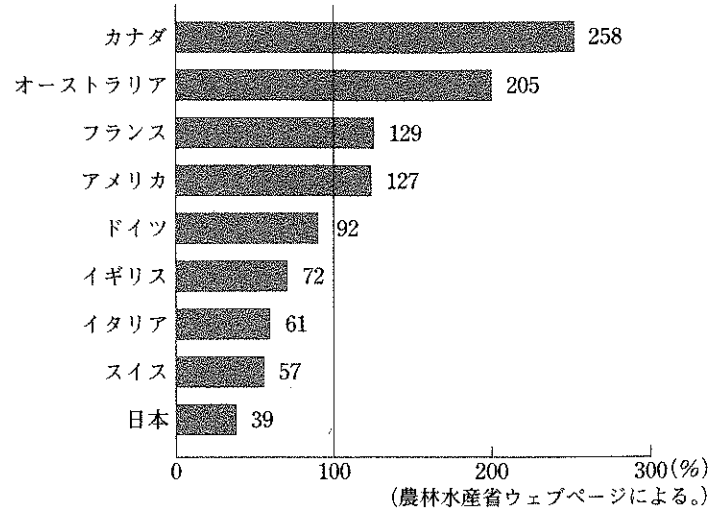
- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が1から4まであります。
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

第

番

1 あるクラスの社会科の授業で、「食料自給率からみた日本と世界」というテーマで班に分かれて学習しました。右のグラフは、この授業のはじめに先生が提示した、2011年（平成23年）の日本と諸外国の食料自給率を示しています。また、次のカードⅠ～Ⅲは日本の食料自給率が低い原因について、A～C班がそれぞれ予想した内容を示しています。これらを見て、あとの1～4に答えなさい。



(ア) スイス (イ) イタリア (ウ) イギリス

カードⅠ

A班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、地形が原因ではないか。
① けわしい山地が多く、山がちな地形で国土の大部分が占められているため、耕地面積が狭く、農産物の生産量が少ないのだと思う。

カードⅡ

B班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、農産物の輸入の自由化が原因ではないか。自由化によって、② 農産物の輸入が増加し、その影響で国内の農産物の生産量が少なくなったのだと思う。

カードⅢ

C班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、③ 海外で生産される食料に対する需要が高いことが原因ではないか。日本は経済的に豊かな先進国になり、食料の輸入が増えたのだと思う。

1 このクラスでは、グラフ中の食料自給率が100%を超える4か国の共通点を考えました。次のア～エのうち、この4か国の共通点として適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。
ア 北半球に位置している。 イ 国土の大部分が温帯に属している。
ウ 日本よりも総人口が少ない。 エ 日本よりも国土面積が広い。

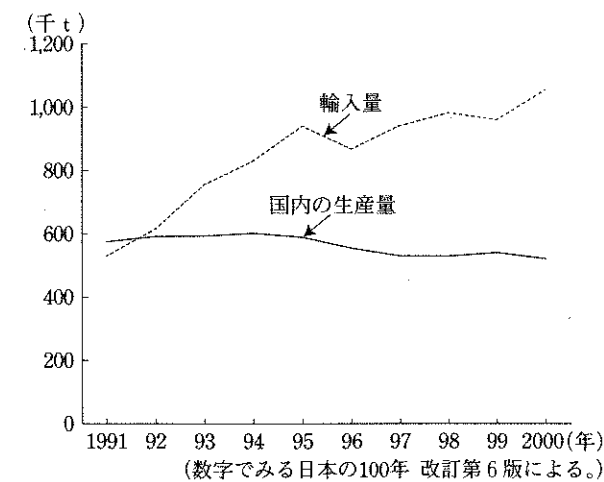
2 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) A班では、グラフ中の国で日本について食料自給率が低い3か国について、国土の大部分がけわしい山地で占められている国かどうかを調べました。あとの地図は、けわしい山地が分布する地域を示しています。あとの(ア)～(ウ)のうち、国土の大部分が、けわしい山地が分布する地域で占められている国をすべて選び、その記号を書きなさい。

(2) A班では、日本において山がちな地形でどのように農業が行われているかを調べ、右の写真のように傾斜地でも工夫をして水田がつくられていることがわかりました。傾斜地で水田をつくるためにどのような工夫が行われていますか。写真をもとに具体的に書きなさい。



3 下線部②に関して、B班では、1991年から輸入が自由化された牛肉の国内の生産量と輸入量を調べ、下のグラフを作成し、自由化以降、輸入量は増加しているのに、国内の生産量はあまり減少していないことに気がきました。B班では、その理由を考えるため、牛肉の国内生産の様子について調べてみました。下の資料はそのとき見つけたものです。資料から、自由化以降、牛肉の国内の生産量があまり減少していないのはなぜだと考えられますか。資料をもとに、「需要」の語を用いて、簡潔に書きなさい。



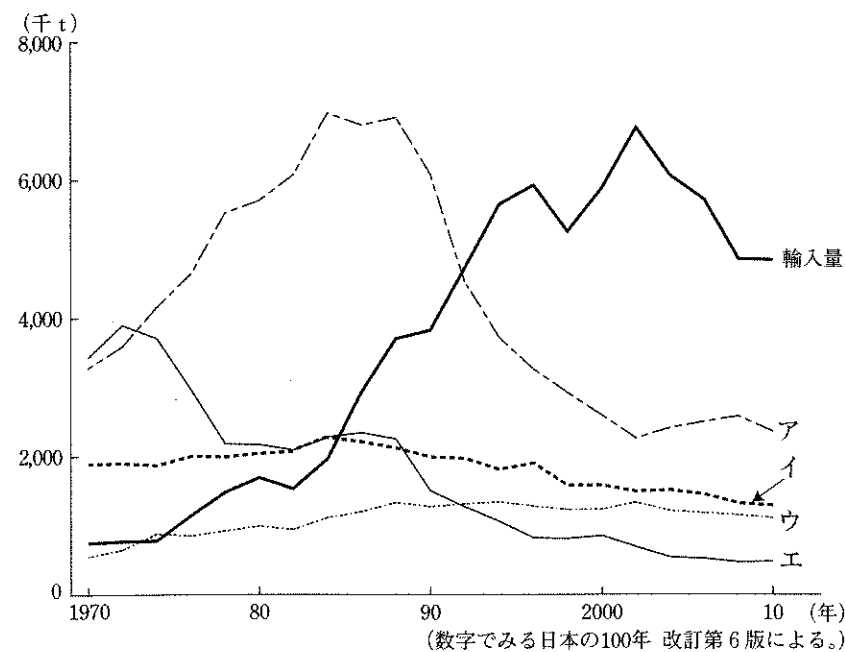
資料
日本には、いわゆる「ブランド牛」の産地が2003年で189か所あります。これらの産地の多くは「ブランド牛」の定義を作って、登録認証組織が認証した牛肉を生産・販売しています。認証されるためには、高い品質と安全性に対する配慮などが求められ、与える飼料や飼育方法が細かく決められている産地もあります。

4 下線部 ③ に関して、C班では、日本がどのような食料を輸入しているかを調べました。次の表は食料の輸入額上位5品目の輸入額と輸入量を示しています。これを見てあとの(1)・(2)に答えなさい。

主な品目	輸入額 (億円)	輸入量 (千t)
魚介類	14,660	4,081
肉類	11,662	2,635
野菜	4,832	3,137
とうもろこし	4,637	14,637
果実	4,535	4,711

(日本国勢図会 2014/15年版, 日本の統計 2015年版による。)

(1) C班では、輸入額が最も多い魚介類について、日本の漁業形態別の漁獲量と輸入量の推移を調べ、次のグラフを作成しました。グラフ中のア～エは、沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業、海面養殖業のいずれかの漁業形態による漁獲量と一致します。ア～エのうち、海面養殖業にあたるものはどれですか。その記号を書きなさい。

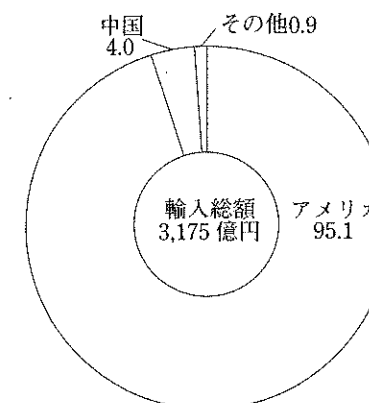


(数字でみる日本の100年 改訂第6版による。)

(2) C班では、輸入量が最も多いとうもろこしについて調べ、次のグラフI・IIと資料を見付け、これらをもとに日本のとうもろこしの輸入相手国の変化について話し合いました。下の会話はそのときのものです。会話の中で次郎さんはどのように述べたと考えられますか。会話中の [] にあてはまるように、資料をもとに、簡潔に書きなさい。

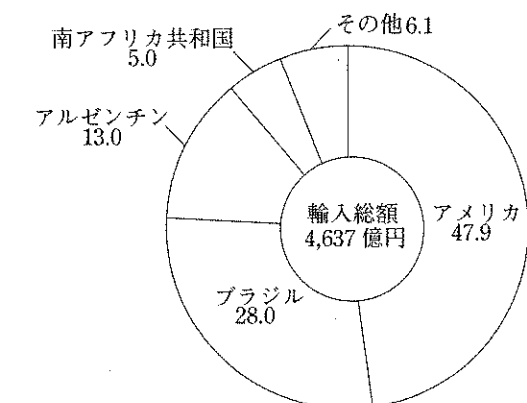
日本のとうもろこしの輸入総額と輸入相手国の割合 (%)

グラフ I (2004年)



(日本国勢図会 2005/06年版による。)

グラフ II (2013年)



(日本国勢図会 2014/15年版による。)

資料

とうもろこしの輸入相手国のできごと

- ・アメリカは、2005年から政府主導でバイオエタノールの生産拡大をはかっている。その結果、2007年には原料となるとうもろこしの国内需要が急増してとうもろこしの価格が高騰した。
- ・アルゼンチンは、2006年にとうもろこしが不作となり、輸出を禁止した。

次郎さん：グラフI・IIから、2004年と2013年を比べると、とうもろこしの輸入相手国が大きく変化していることがわかるね。

太郎さん：2004年では大部分をアメリカから輸入していたけど、2013年では他の国からも多く輸入するようになっているね。どうしてかな。

花子さん：2004年に比べて2013年では輸入総額が増えているから、アメリカから輸入できる量では足りなくなって、他の国からも輸入したんだと思うわ。

次郎さん：そうかもしれないけど、重要な輸入品だからより多くの国から輸入するようになったと思うよ。その理由を資料をもとに説明すると、多くの国から輸入する方が [] から、日本にとって有利だと思うんだよ。

2 広島県のある中学校の社会科の授業で、身近な地域の歴史について班ごとにテーマを決めて調べました。次の会話は、ある班がテーマを決めたときのものであり、下の資料は、この班がテーマに沿って調べた内容の一部です。これを読んで、あとの1～5に答えなさい。

花子さん：郷土資料館にはいろいろな展示があったわね。わたしは「麻作り」の展示で、麻の布ができあがるまでの過程がよくわかったわ。

太郎さん：麻の布を触ったけれど、かさかさしていたね。着心地はどうだったのかな。

花子さん：そうね。着心地は涼しいけれど、木綿に比べて少し固い感じがするかもしれないわ。

次郎さん：ぼくたちが住んでいる地域で、昔は麻がたくさん作られていたなんて知らなかった。木綿も作られていたのかな。

太郎さん：わからないけれど、室町時代には①日本は木綿をたくさん輸入していたことを学習したよね。だから、作られていなかったかもしれないね。

次郎さん：でも、明治時代には綿糸を輸出していたんじゃないかな。どうして輸出できるようになったんだろう。

花子さん：言われてみると、麻や木綿についてあまりよく知らないわね。私たちの班は「麻と木綿の歴史」について調べてみましょうか。

資料

- ・麻は、古くから身近な繊維だった。②平安時代中期に安芸(広島県)から都に麻を税として納めた記録も残っている。
- ・室町時代には、日本は木綿を朝鮮などから大量に輸入していた。室町時代後期ころから三河(愛知県)などで綿の栽培が始まり、安芸や備後(広島県)でも綿が栽培されるようになったと考えられている。木綿は衣服のほか、鉄砲の火縄などにも利用された。
- ・江戸時代になると、③広島藩や福山藩は綿の栽培を奨励した。綿の栽培には大量の肥料が必要だった。
- ・江戸時代になると、④麻は漁網などに加工されることが多くなった。安芸や備後は、上野(群馬県)や下野(栃木県)などとともに主要な産地の一つだった。
- ・明治時代になると、広島紡績所などの近代的な工場がつくられた。1890年代には、⑤綿糸の生産が拡大し、主要な輸出品になった。
- ・その後も綿糸は繊維産業の中心だったが、第二次世界大戦後、次第に化学繊維が普及するようになり、⑥高度経済成長期の1960年代には、化学繊維の生産量が綿糸の生産量を上回った。

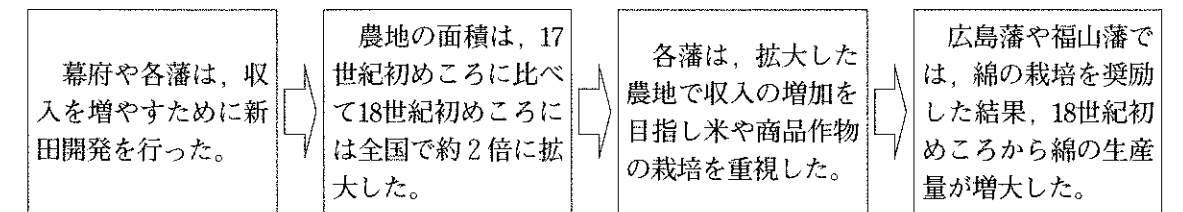
1 下線部①に関して、室町時代には、商人や手工業者による同業者の組合が木綿などのさまざまな品物の生産や販売を独占していました。この同業者の組合を何といいますか。その名称を書きなさい。

2 下線部②に関して、次のア～エのうち、このころの地方の政治の様子について述べた文はどれですか。その記号を書きなさい。

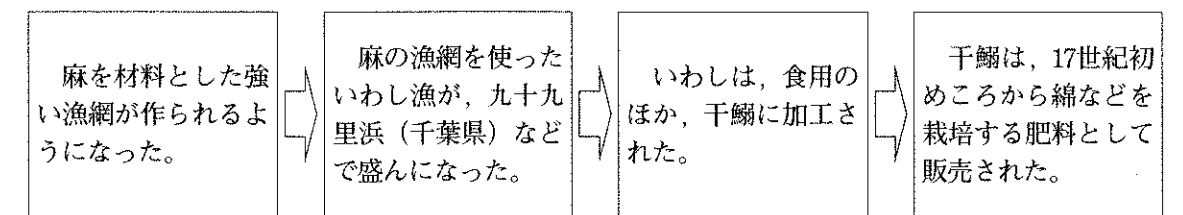
- ア 戦国大名が実力で領国を支配した。
- イ 朝廷から派遣された国司が政治を行った。
- ウ 政府から任命された府知事や県令が統治した。
- エ 将軍から領地を与えられた大名が支配した。

3 下線部③に関して、太郎さんは綿の栽培について調べ、わかったことを次の図Ⅰにまとめました。また、下線部④に関して、花子さんは麻の用途について調べ、わかったことを図Ⅱにまとめました。花子さんは、さらに干鰯という肥料について調べ、下の資料を見付けました。この資料は、18世紀初めころの干鰯の値段の変化に関するものです。資料に示されたように、18世紀初めころに干鰯の値段が変化したのはなぜだと考えられますか。その理由を、図Ⅰ・Ⅱをもとに、「新田開発」の語を用いて、簡潔に書きなさい。

図Ⅰ



図Ⅱ



資料

昔は、金1両で干鰯を50俵から60俵買うことができたが、今では、金1両で7俵から8俵しか買うことができない。

4 下線部 ⑤ に関して、次郎さんは、綿糸の生産の拡大に関わる主なできごとを次の略年表にまとめました。次郎さんはさらに、日本が綿糸を輸出できるようになった理由を考えるために当時の紡績工場について調べ、下の写真と資料を見付けました。写真は1883年（明治16年）に開業した紡績会社の工場の様子を、資料は紡績工場の労働者の様子を示しています。綿糸の生産が拡大して輸出できるようになったのはなぜですか。その理由を、写真と資料をもとに、簡潔に書きなさい。

年	綿糸の生産の拡大に関わる主なできごと
1883	大阪で日本最大規模の紡績会社が開業する
1890	綿糸の生産量が輸入量を上回る
1897	綿糸の輸出量が輸入量を上回る

紡績工場の様子

資料
紡績工場の労働者のほとんどは女子労働者で、多くの工場で労働時間は1日12時間、1897年の平均賃金は当時の男子労働者の3分の1以下だった。

5 下線部 ⑥ に関して、次の（ア）～（エ）のうち、このころの社会の様子について述べた文はどれですか。その記号を書きなさい。

- （ア）株式や土地の価格が異常に値上がりするバブル経済となった。
- （イ）ラジオ放送が始まり、家庭に情報が早く伝わるようになった。
- （ウ）太陽暦が採用され、西洋風の生活様式が取り入れられた。
- （エ）重化学工業が発展し、国民総生産が初めて資本主義国第2位となった。

3 あるクラスの社会科の授業で、現代社会をとらえる見方や考え方について学習しました。次の資料は、このときに使われたものの一部です。これを見て、あとの1～4に答えなさい。

資料

ある市に社一しかない①バス会社が、X地区から市の中心部までの区間を走るバス路線の廃止を検討しています。この路線は、100円の収入を得るために現在920円の経費がかかっている「赤字路線」です。市はこれまで、このバス会社に補助金を支出し、この路線を維持してきましたが、今後もこの路線を維持するためには、補助金の支出が拡大する見込みであり、②市の財政はさらに厳しい状況になると考えられます。そこで、市は市民からこの路線を維持するかどうかについて意見を集めました。

次の意見Ⅰと意見Ⅱは、集まったものの一部です。

意見Ⅰ

市内には道幅が狭く、小学生などが通学するのに危険な道路が何か所もあります。市は一部のしか利用していないバス路線を維持するために補助金の支出を増やすよりも、より多くの人が利用している道路の整備などに優先的にお金を支出してほしいです。

意見Ⅱ

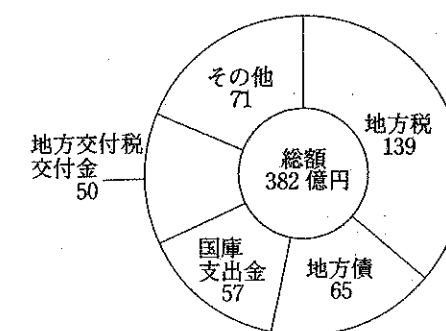
私はX地区に住んでいます。私の孫は毎日高校までバスで通学しており、私も週に2回通院のためにバスを利用しています。もしも、バスがなくなったら大変不便になります。他の地区と同じようにバスが利用できるよう、補助金を増やしてでも、バス路線を存続してほしいです。

1 下線部 ① に関して、バスの路線の廃止や運賃の変更は、国や地方公共団体の認可などが必要です。それはなぜですか。その理由を、「生活」の語を用いて、簡潔に書きなさい。

2 下線部 ② に関して、次のグラフⅠとグラフⅡは、この市の平成26年度の歳入額と歳出額の内訳をそれぞれ示しています。あとの文章は、市の財政状況が厳しい理由についてこのクラスの生徒がグラフⅠ・Ⅱをもとに考えたことをまとめたものです。文章中の a と b にあてはまる適切な語を、それぞれ書きなさい。

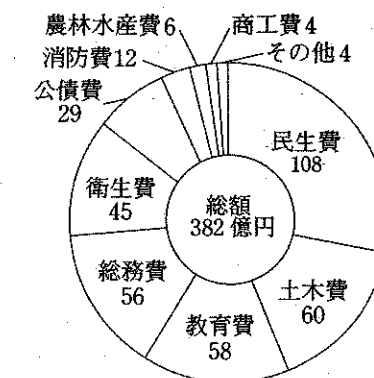
グラフⅠ

平成26年度の歳入額（億円）



グラフⅡ

平成26年度の歳出額（億円）



民生費：福祉関連の費用
総務費：公務員の給与、庁舎の維持管理などの費用

グラフⅠから、歳入の不足分を補うために が発行されていることがわかり、グラフⅡから、これまで発行された の返済などのために が支出されていることがわかる。 よりも の金額が大きいため、将来返済しなくてはならない金額が累積していく可能性があるため、財政状況が厳しいことがわかる。

3 このクラスの太郎さんと次郎さんは、意見Ⅰと意見Ⅱについて効率と公正の視点で、それぞれの考えを次のようにまとめました。太郎さんは意見Ⅰについてまとめ、次郎さんは意見Ⅱについてまとめました。次郎さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。次郎さんのまとめの中の に入る内容を、「……という主張は、……ということ」の形式で書きなさい。

太郎さんのまとめ

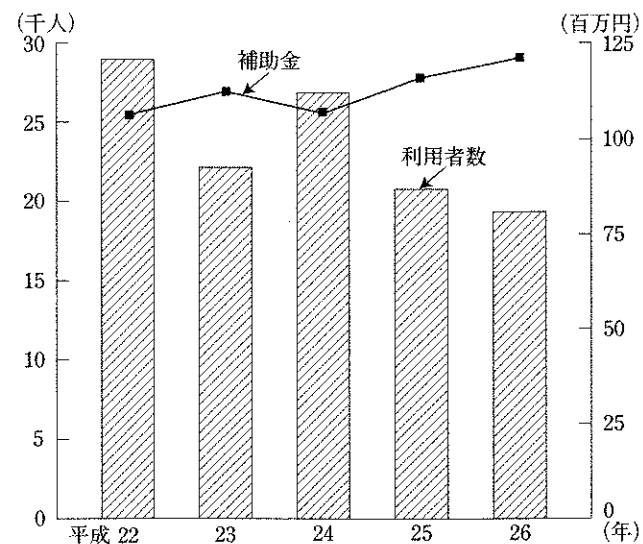
意見Ⅰの中の、より多くの人々が利用している道路の整備などに優先的にお金を支出してほしいという主張は、限りあるお金をできるだけ多くの人々のために無駄なく使うということなので、効率の考え方だといえる。

次郎さんのまとめ

意見Ⅱの中の、 なので、公正の考え方だといえる。

4 このクラスでは、このバス路線の維持について考えることにしました。次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 右のグラフは、X地区から市の中心部までのバス路線の年間利用者数の推移と市がバス会社に支出した補助金の推移をそれぞれ示しています。このクラスの生徒はグラフを見て、この路線の利用者数を増やすことが、路線を維持するために重要ではないかと考えました。その理由を、グラフをもとに簡潔に書きなさい。



(2) このクラスの生徒は、X地区から市の中心部までのバス路線の利用者数を増やす方法を考えるために、この路線の周辺に住む人々を対象として、次のようなアンケートを作成しました。アンケート中の に入る質問3の選択肢として、どのようなものが考えられますか。簡潔に書きなさい。

アンケート

このアンケートは、X地区から市の中心部までのバス路線の利用者数を増やすことを目的としたものです。次の質問にお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

該当する番号に○を付けてください。

質問1 現在、どのくらいの割合でバスを利用していますか。(およその回数で結構です)

- ① ほぼ毎日 ② 週に2～3回 ③ 週に1回 ④ 月に2～3回
⑤ 月に1回 ⑥ 年に数回 ⑦ 利用していない

※質問1で、①～④に○を付けられた方は質問2に、⑤～⑦に○を付けられた方は質問3にお答えください。

質問2 あなたがバスを利用する主な目的は何ですか。

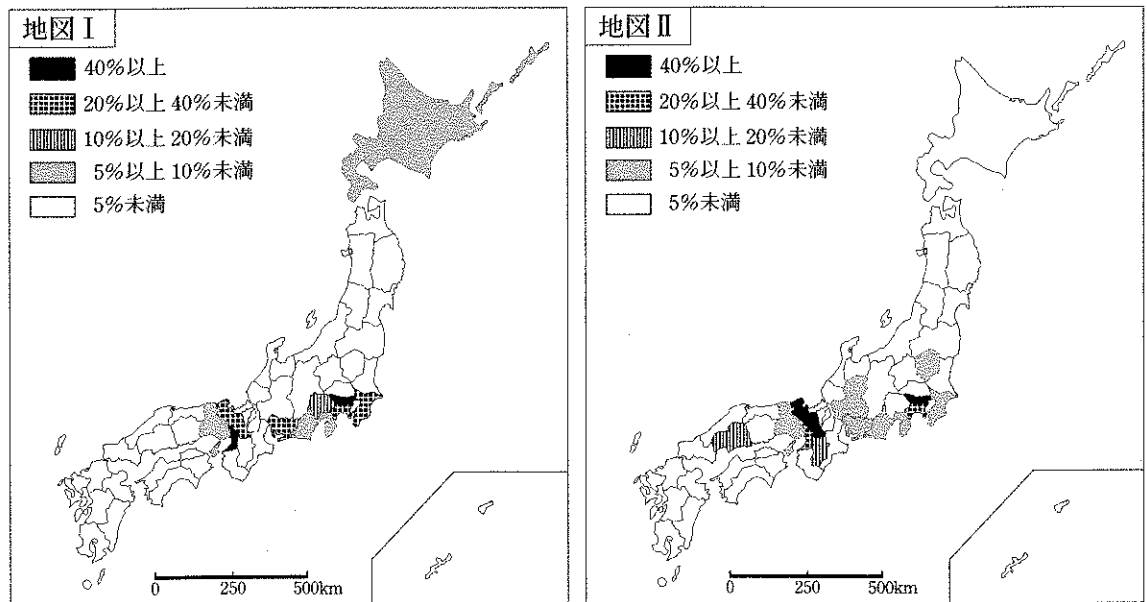
- ① 通勤 ② 通学 ③ 通院 ④ 買い物 ⑤ レジャー
⑥ その他

質問3 現在、バスをほとんど(まったく)利用していないのはなぜですか。(複数回答可)

- ①
② 鉄道との乗り継ぎが不便だから
③ バスを降りたあと、目的地までが遠いから
④ バス停の近くに駐輪場がないから
⑤ 車両に段差があるから
⑥ 運賃が高いから
⑦ 他の交通手段の方が便利だから
⑧ その他 ※下の()に、具体的な理由をお書きください。
()

ご協力ありがとうございました。

3 下線部 ③ に関して、太郎さんたちは、中国とフランスから来たそれぞれの旅行者について、都道府県別の訪問率を調べ、その結果をもとに地図を作成しました。次の地図Ⅰは中国からの、地図Ⅱはフランスからの旅行者の都道府県別の訪問率をそれぞれ示しています。また、下の会話は地図Ⅰ・Ⅱを見て太郎さんたちが話し合ったときのものです。会話中の と にあてはまる語をそれぞれ書きなさい。



(観光庁ウェブサイトによる。)

太郎さん：中国とフランスからの旅行者の訪問率がともに5%以上である都道府県は、東京、大阪、名古屋の大都市圏に多いね。

次郎さん：そうだね。大きな都市は交通網も発達しているので、訪れやすいんだろうね。

太郎さん：訪問先の違いを見ると、中国からの訪問率が5%以上でフランスからの訪問率が5%未満になっているのは北海道と山梨県だね。反対に、フランスからの訪問率が5%以上で中国からの訪問率が5%未満になっているのはどこかな。

次郎さん：栃木県、岐阜県、 県、広島県だね。これらの県に何か共通点があるのかな。

太郎さん：これだけでは難しいけど、こんな資料があるよ。日本を訪れた外国人に旅行の目的を聞いたアンケートなんだけど、その中で「日本の歴史や伝統文化にふれること」と回答したのはフランスからの旅行者が最も多かったんだ。

次郎さん：そういえば、 県には古いお寺が多いね。

太郎さん：歴史的な文化財が多く、価値のある建造物や遺跡を保存するための国際的な制度である に登録されているものもあるね。

次郎さん：そうか。広島県の ^{いつくしま} 厳島神社や原爆ドームも、栃木県の日光東照宮や岐阜県の合掌造りの集落も登録されているね。

太郎さん：こうしてみると、これらの県でフランスからの旅行者が のある場所を訪れている可能性は高いかもしれないね。

4 太郎さんたちは外国人旅行者に日本で気持ちよく過ごしてもらうために、自分たちに何ができるかを考え、最近増えているイスラム教徒の旅行者を自宅に招いたときに配慮すべきことをまとめた「おもてなしメモ」を作成することにしました。次の資料Ⅰは、「おもてなしメモ」を作成するために太郎さんたちが調べたイスラム教に関するところがらの一部を、資料Ⅱは作成した「おもてなしメモ」の一部をそれぞれ示しています。資料Ⅱ中の にはどのような内容が入ると考えられますか。資料Ⅰをもとに、簡潔に書きなさい。

資料Ⅰ

イスラム教について

現在、世界には約14億人のイスラム教徒がいます。イスラム教の聖地であるアラビア半島のメッカにあるカーバ神殿には毎年多くの信者が巡礼に訪れます。聖典であるコーランには神の教えが書かれており、信者は神の教えを守りながら生活しています。

日常生活で守るべきこととしては、豚肉や豚に関わる食材を口にしない、豚肉以外の食材もイスラム教で定められた方法で処理されたもの以外は口にしない、お酒を飲まないなどがあります。礼拝は1日に5回、決められた時間にメッカの方角に向かって行います。礼拝の前には清潔な場所で手や顔、足などを水で清めます。

資料Ⅱ

おもてなしメモ

イスラム教徒に配慮すべきこと

○食事について

- ・豚肉を使った料理や豚骨でスープを取った料理を出してはいけません。
- ・食材はイスラム教で定められた方法で処理されたものを料理に使いましょう。
- ・お酒は料理に使う場合でも、使ってよいかどうかを確認しましょう。

○礼拝について